

## 2022年度卒業・修了 留学生の就職率等

卒業・修了者数 (A)	就職希望者数 (B)	就職者数 (C)	その他	就職率 (%) (C) ÷ (B)
11	6	6	5	100%

※2022年度卒業・修了者（学部・大学院の合計）の就職率等を掲載しています。

※学部・大学院の正規生であり、在留資格「留学」のみを掲載しています。

※日本国内での就職者のみを掲載しています。

※その他では、日本国内での進学、起業、母国への帰国・他国への留学等の人数を示しています。

※外国人学生を対象にした就職アンケートにおいて、日本国内での就職者を把握し、  
希望者にメールによる情報提供を行っています。

※就職先は以下のとおりです。

ジャパンフーズ株式会社  
株式会社ピーティーエス・ジャパン  
ニチネン株式会社  
インフォジョイント株式会社  
株式会社OGM  
奕和胤仕合同会社

※進学先は以下のとおりです。

山形大学大学院  
京都外国語大学大学院

氏名（イニシャル）：L・J（2023年3月卒業）

出身国：中国

内定先業種：食料品(東証スタンダード上場)

幼少の頃から日本の漫画やアニメなどに親しんでいたことから、生活や文化について関心を持っており、現地で実際に体験してみたいと考えていました。

渡日後、日本語学校での初歩からの勉強とともに、大学進学のための学習を開始しましたが、外国での生活であり、色々と大変なことや辛いことも多くありました。

しかし、これらの経験によって、諦めずに粘り強く努力すること・辛いことにも忍耐して取り組むことの大切さを学ぶことができたと考えています。

獨協大学に入学した年の終わりには、コロナ禍によってオンラインによる受講や行動制限を余儀なくされたため、交友関係・行動範囲はそれほど多くなかったのですが、深く付き合える友人関係をつくることができました。

留学生ということもあり、学業・生活などで戸惑う部分もありましたが、これらを話し合い、協力し合うことで当時の多く困難を乗り越えました。彼らと喜びなどを共有し、ともに努力したことは就職活動の支えとなりました。

就職活動に関しては、日本での就業を目標としていたため、早期の行動を心がけました。

日本での就職活動には、学年・時期ごとに取り組むべきスケジュールがあるため、この流れをつかむことが大切だと感じています。

特に後輩の皆さんには、2年次からインターンシップに参加し、希望する業界・職種を早い段階から体験することを勧めます。

留学生は就職までには時間的な余裕があると考えてしまう傾向にあり、その結果、遅めのスタートとなってしまうのは残念だと考えているためです。

獨協大学のキャリアセンターが実施する就職ガイダンスに積極的に参加することで、就職マナーを身に付けるとともに、履歴書・エントリーシートの書き方、自己分析および業界研究の方法などを学ぶように心がけました。

各種テストや面接などの対策をしつつ、相談を重ねることで自分らしい履歴書、エントリーシートを完成できたことは良い思い出になっています。これらの取り組みの結果、4年次の前半に内定をいただくことができました。

就職活動には、多くの辛いことや挫折もありますが、これらの経験や失敗から学びつつ、最終的に自分を成長させていくことが重要なのではないかと考えています。

後輩の皆さんにも、獨協大学のキャリアセンターが提供する取り組みに早い時期から参加してもらい、失敗を恐れずに意欲的に行動してほしいと思っています。

氏名(イニシャル) : W・F (2020年3月卒業)

出身国 : 中国

内定先業種 : 不動産業(東証プライム上場)

以前から日本が大好きで、アニメやドラマで日本の生活についてイメージできていたこともあり、中国の学校を卒業した後に日本へ留学することを決めました。渡日前に日本語を学習すべく、忙しい毎日を送りましたが充実した日々であったことを思い出します。

その一方で大学での学習や生活などの不安があり、悩むことも多かったのですが、獨協大学の入学後にたくさんの友達に出会い、一か月でそれらの問題は解消できました。四年間の大学生活では、良い友人たちに恵まれ、深い絆をつくることができました。

大学の講義・課題にも意欲的に取り組み、授業を通じて物事の見方や視野を広げることを心がけました。四年間を振り返ると日本、そして獨協大学での留学生活は大成功だったと思っています。

就職活動についても早い段階から取り組むようにし、3年次からは学内のキャリアセンターを積極的に活用しました。

外国人学生を対象とした説明会とともに、全体的な就職ガイダンスではスケジュールや履歴書・エントリーシート作成などについての説明を受けて、就職活動のマナーや自己分析・業界研究の方法を学びました。アドバイザーとの面談も受けつつ、面接やSPI・筆記試験に関する対策をし、4年次の6月には内定をいただくことができました。

日本での就職活動は辛いこともありましたが、キャリアセンターからのアドバイスや自身でも工夫・努力をすることで、精神面も鍛えられたと思います。就職活動を通じて自分に自信を持つことができました。

留学生活の初期には、不安や困難を感じることも多いと思いますが、自身を成長させる機会だと思い、何事にも挑戦することが重要だと思います。

いろいろな壁を乗り越えた時、目指す自分により近づけているはずです。今後の社会人としての生活においても獨協大学で学んだことを生かしていきたいです。